

2022 年 6 月 5 日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒122 番（旧 205 番）

『十字架の上に』

聖書⇒使徒言行録 2:1~4、11~12 節（MM 姉）

『五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。』

ユダヤ人もいれば、ユダヤ教への改宗者もあり、クレタ、アラビアから来た者もいるのに、彼らがわたしたちの言葉で神の偉大な業を語っているのを聞こうとは。」人々は皆驚き、とまどい、「いったい、これはどういうことなのか」と互いに言った。』

礼拝讃美歌⇒297 番（MM 姉）

『見ゆるところによらず』

聖書⇒詩編 100 編（SK 兄）

『【賛歌。感謝のために。】全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ。

喜び祝い、主に仕え／喜び歌って御前に進み出よ。

知れ、主こそ神であると。主はわたしたちを造られた。

わたしたちは主のもの、その民／主に養われる羊の群れ。

感謝の歌をうたって主の門に進み／賛美の歌をうたって主の庭に入れ。

感謝をささげ、御名をたたえよ。

主は恵み深く、慈しみはとこしえに／主の真実はやがて及ぶ。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 14: 8~9 節

『フィリポが「主よ、わたしたちに御父をお示してください。そうすれば満足できます」と言うと、イエスは言われた。「フィリポ、こんなに長い間一緒にいるのに、わたしが分かっているのか。わたしを見た者は、父を見たのだ。なぜ、『わたしたちに御父をお示してください』と言うのか。』

（祈り）

聖書⇒ヨハネの手紙一 4: 8~9 節 (TM 兄)

『イエスが神の子であることを公に言い表す人はだれでも、神がその人の内にとどまってくださり、その人も神の内にとどまります。わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。

愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってくださいます。』

聖書⇒ヨハネの手紙一 5: 18~20 節 (TM 兄)

『わたしたちは知っています。すべて神から生まれた者は罪を犯しません。神からお生まれになった方が、その人を守ってくださり、悪い者は手を触れることができません。わたしたちは知っています。わたしたちは神に属する者ですが、この世全体が悪い者の支配下にあるのです。わたしたちは知っています。神の子が来て、真実な方を知る力を与えてくださいました。わたしたちは真実な方の内に、その御子イエス・キリストの内にいるのです。この方こそ、真実の神、永遠の命です。』

(祈り)

礼拝讃美歌⇒256 番 (KH 兄)

『歌いつつ歩まん』

《パン裂き》

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 11:23~26 節 (KH 兄)

『わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。』

(式)

礼拝讃美歌⇒150 番 (旧 63 番) (KH 兄)

『冠受けて』

《建徳》

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 6:17~18 節 (KH 兄)

『また、救いを兜としてかぶり、霊の剣、すなわち神の言葉を取りなさい。どのような時にも、“霊”に助けられて祈り、願い求め、すべての聖なる者たちのために、絶えず目を覚まして根気よく祈り続けなさい。』

聖書⇒マタイによる福音書 4:1~10 節

『さて、イエスは悪魔から誘惑を受けるため、“霊”に導かれて荒れ野に行かれた。そして四十日間、昼も夜も断食した後、空腹を覚えられた。すると、誘惑する者が来て、イエスに言った。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」イエスはお答えになった。『人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』／と書いてある。」次に、悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神殿の屋根の端に立たせて、言った。「神の子なら、飛び降りたらどうだ。『神があなたのために天使たちに命じると、／あなたの足が石に打ち当たることのないように、／天使たちは手であなたを支える』／と書いてある。」イエスは、『あなたの神である主を試してはならない』とも書いてある」と言われた。更に、悪魔はイエスを非常に高い山に連れて行き、世のすべての国々とその繁栄ぶりを見せて、「もし、ひれ伏してわたしを拝むなら、これをみんな与えよう」と言った。すると、イエスは言われた。「退け、サタン。『あなたの神である主を拝み、／ただ主に仕えよ』／と書いてある。』

聖書⇒ヘブライ人への手紙 4:12 節

『というのは、神の言葉は生きており、力を発揮し、どんな両刃の剣よりも鋭く、精神と霊、関節と骨髓とを切り離すほどに刺し通して、心の思いや考えを見分けることができるからです。』

聖書⇒ルカによる福音書 5:5 節

『シモンは、「先生、わたしたちは、夜通し苦労しましたが、何もとれませんでした。しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみしましょう」と答えた。』(Logos ではなく Rema)

聖書⇒申命記 6:4~9 節 (SK 兄)

『聞け、イスラエルよ。我らの神、主は唯一の主である。

あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。

今日わたしが命じるこれらの言葉を心に留め、

子供たちに繰り返し教え、

家に座しているときも道を歩くときも、寝ているときも起きているときも、これを語り聞かせなさい。

更に、これをしるしとして自分の手に結び、覚えとして額に付け、

あなたの家の戸口の柱にも門にも書き記しなさい。』

礼拝讃美歌⇒399 番 (旧 131 番) (SK 兄)

『みふみをひもとく』

《建德要旨》